

研究課題 (テーマ)		多角的英語教育推進・情報発信プロジェクト ～AI 活用学習・異文化交流・教員共創の Global Hub～	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	教養教育センター	講師	リ オリガ
	同上	講師	碓井 エリザベス
		准教授	モクタリ明子
		准教授	清水義彦
研究結果の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ● 英語学習支援およびアクティビティの実施 (11月、12月、1月) 本学学生を対象とした「英語資格対策指導」および「英語アクティビティ」を開催した (合計 16 回)。常勤・非常勤の英語教員が活動拠点である LL 教室に滞在し、学生からの学習相談への対応や英語によるコミュニケーションの場を提供した。 ● 異文化交流イベントの開催 留学生と日本人学生の交流イベント (End of Year Party, 12月 18日開催) を実施した。留学生が大学生活に馴染むきっかけを作ると同時に、日本人学生が国際感覚を身につける機会となった。 ● 英語科教員ミーティングの実施 (8月、1月) 常勤・非常勤講師 (8月 13名、1月 12名) が集まり、効果的な授業実施のためのコミュニケーションを図った。特に「生成 AI 利用の事例および課題」について議論を行い、教育現場への導入に関する知見を共有した。 LL 教室を活動拠点とし、英語資格対策指導やアクティビティを行うことで、学生が実践的な英語の必要性を肌で感じる「体験型の情報発信」を実現した。教員がその場で学習相談に応じる体制そのものが、英語学習に関する最新のノウハウを学生にダイレクトに提供する情報発信拠点 (Hub) として機能した。 実施したイベントは、単なる交流に留まらず、参加者同士が自らの背景や文化を提示し合う「相互的な情報発信の場」となった。 教員間の知見共有という目的で ミーティングを通じて、17名の教員間で教育事例や生成 AI の活用法に関する情報交換を行った。生成 AI 利用の事例や課題について対面で議論を行うことで、最新のテクノロジーを活用した教育リソースの共有と発信が教員間で行われた。 本プロジェクト専用の Instagram アカウントを作成し、イベントや活動の様子をリアルタイムで発信した。これにより、学生や留学生への情報提供の円滑化が図られ、活動拠点の認知度向上に繋がった。 			
今後の展開			
<p>本プロジェクトの成果を踏まえ、今後は LL 教室を拠点とした英語学習支援・異文化交流・教員連携を継続的に実施し、参加学生・留学生・教員の層をさらに広げていく。</p> <p>あわせて、Instagram 等も活用しながら活動の周知と参加促進を図り、学生が日常的に英語や異文化に触れられる環境整備を進める。</p> <p>さらに、教員間で共有された授業実践や生成 AI 活用の知見を蓄積・発信し、より効果的な英語教育支援体制の構築を目指す。</p>			